

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 12020184

政策目標	3	のひやか・雄武～教育・文化の振興～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 極めて専門的知識を要し、資料整理及び復元経費などを把握する必要があるため、専門職員を交えながら分析・調査を進める必要ががる。
基本施策	14	芸術・文化の振興	事業優先度	C		
単位施策	1	歴史文化の保存と継承	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)		
事業名	郷土資料保存・展示調査事業		見直し年度			
事業期間	平成26年度～平成29年度		担当課	12 教育委員会教育振興課		
事業主体	雄武町		関係課	#N/A		
事業指標	郷土資料250点の分析・調査		関係課	#N/A		
事業目標	郷土資料の区分整理・データ集計		ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業		
住民参加	無		関係例規・法令名	無		
住民協働	無		関係個別計画名	無		

		全 体 計 画 事 業 内 容	平成 25 年度 事 業 内 容	平成 26 年度 事 業 内 容	平成 27 年度 事 業 内 容	平成 28 年度 事 業 内 容	平成 29 年度 事 業 内 容
計 画 内 容		郷土資料の調査 ・専門員の分析 ・保存資料の調査 ・保存資料の区分整理 ・保存資料のデータ集計作成 ・方向性の検討		郷土資料の調査 ・専門員の分析 ・保存資料の調査	郷土資料の調査 ・保存資料の調査	郷土資料の調査 ・専門員の分析・調査 ・保存資料の区分整理 ・保存資料のデータ集計作成	郷土資料の調査 ・資料の保存、展示方法に 関する調査、研究 ・道内博物館、郷土資料館視察
	事業費(千円)	132	0	100	0	0	32
計 画 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	132		100	0	0	32	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	357	0	0	0	357	0
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	0						
一般財源	357		0	0	0	357	
	特定財源の名称		(実施内容等)	(実施内容等) 保存資料の調査	(実施内容等) 保存資料の調査	(実施内容等) 郷土資料の調査 ・専門員の分析・調査 ・保存資料の区分整理 ・保存資料のデータ集計作成	(実施内容等) 郷土資料の調査 ・資料の保存、展示方法に 関する調査、研究 ・道内博物館、郷土資料館視察
	【評価・実績】		※事務事業評価結果	※事務事業評価結果 C-内容の見直し・変更 保存資料の分析・調査	※事務事業評価結果 C-内容の見直し・変更 保存資料の分析・調査	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持 保存資料の区分整理・資料集計	※事務事業評価結果 A-終了 保存資料の整理・資料集計・方向性の検討
	前期計画からの継続 (継続無し)	年度目標値		0%	#DIV/0!	#DIV/0!	0%
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	0%	0%	0%	270%	270%
		全体達成率					
		備考欄					

事業名	郷土資料保存・展示調査事業	評価者 管理職 職氏名	教育振興課長	新谷 朋人
		評価者 作成者 職氏名	生涯教育係主査	櫻井 輝久

様式1
平成29年度実施
平成30年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	郷土資料	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	展示方法及び保管方法調査								
【抱える課題やニーズは】	平成31年度オープン予定の新図書館における郷土資料の展示に向けた、資料の整理・保存方法、展示方法について、情報が不足している。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	郷土資料の整理・保存と展示について効果的な手法を学ぶ。	① 調査	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成29年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>1式</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>1式</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>100.0%</td></tr> </table>	目標年度	平成29年度	目標値	1式	実績値	1式	達成度	100.0%
目標年度	平成29年度										
目標値	1式										
実績値	1式										
達成度	100.0%										
【その結果、どのような成果を実現したか】 ※成果＝目的	新図書館における郷土資料の効果的な展示を実現する他、様々な学習機会での活用を目指す。	②	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成29年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>#DIV/0!%</td></tr> </table>	目標年度	平成29年度	目標値	〇〇	実績値	〇〇	達成度	#DIV/0!%
目標年度	平成29年度										
目標値	〇〇										
実績値	〇〇										
達成度	#DIV/0!%										
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	道内博物館視察	北海道大学博物館、北海道博物館、枝幸博物館を視察し、資料の保存・展示・活用方法を学んだ。									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	町民から寄贈を受けた貴重な郷土資料の保存や展示、それらの様々な学習機会でも活用は、教育行政が担う必要がある。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	視察先の学芸員から有用な情報提供・助言を得たことから、適切な調査を行うことができた。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
有効/概ね有効/課題あり	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	本事業に係る経費は定型の旅費のみであることから、効率的である。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	今後予定している郷土資料の利活用のための調査であり、新図書館において展示された際には、全町民が鑑賞対象となることから公平である。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
視察により有用な情報を得ることができ、郷土資料の保存・展示・活用方法を学んだ。		

今後の展開方向
(Action)

終了		
平成28・29年度の2か年で計画されていた事業は全て完了し、新図書館での郷土資料展示についても設計業務が完了したことから、本事業は終了となる。		

※展開方向の区分

○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止